

藤田安全パトロール隊（岡山県）

活動地域と団体の概要

我々は平成16年6月、藤田地域の安全推進員が中心となり、老人会、更生保護女性会、地域の事業者、専従者、農業者、定年退職者等々に声を掛け発足し、9年になります。現在は78人で構成されております。平均年齢は皆さんと同じく高齢で、65歳ぐらいが平均です。青色回転灯装備車は24台登録しております。活動区域は、岡山市南部の干拓によりできた広大な農地が広がる藤田中学校区です。面積は23平方キロ、人口は約1万3,000人です。市街地から約20分ぐらい走った農地、広大な土地のど真ん中でございます。

小学校は3校あります。中学校は1校、高等学校は1校あります。南北に国道30号線が走り、市街地へのアクセスが便利で、近年では宅地化が進み、人口も増加傾向にあります。全体で見ると高齢化が進んでおります。

これは隊の組織図で隊員の住まいにより、第1学区隊、第2学区隊、第3学区隊に分かれております。それぞれに学区リーダーがいて、その下に登下校見守りの昼間の班、地域全体をパトロールする夜間班と班別構成されております。隊の規約の中で各学区リーダーが2年毎に順番に代表会長を務めることにしております。これは活動の偏りを無くすためです。ちなみに私で5代目ということでございます。

制服ですが、この写真は冬のジャンパーです。夏にはポロシャツもあります。他にベスト、Tシャツもあります。車にはパトロール中はマグネットシートを貼っております。夜間のパトロールも同じですが、青色回転灯を付け、必ず複数で乗車して、危険がないよう



FP 藤田安全パトロール隊

1. 隊の概要

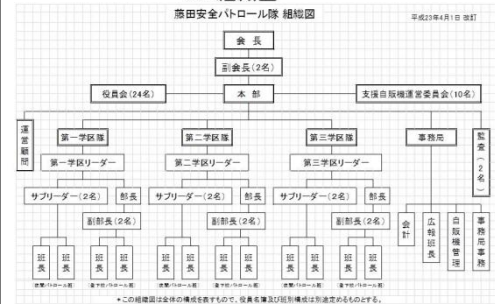
- 代表者 会長 **長保 晴男**
(本部：岡山市南区藤田185)
- 隊の設立 **平成16年6月**
- 隊員数 **構成員 78名 (平成25年4月現在)**
- 青色回転灯
登録車台数 **24台 (平成25年4月現在)**

<支援組織>

岡山南警察署、藤田交番、岡山南防犯連合会、

2

3. 組織図



4

4-1. 昼間パトロールの服装

自動車・自転車・徒歩・定点などいろいろ。



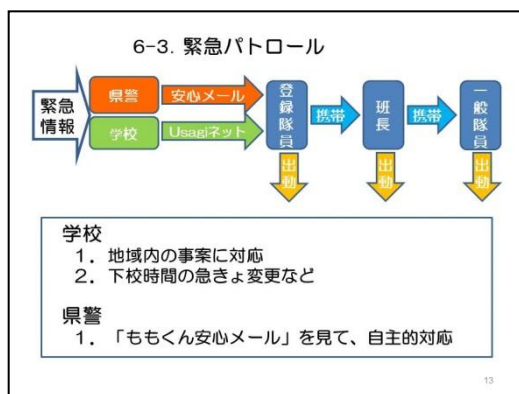
6

に対処しております。パトロールの時は携帯電話、デジカメ、メモ帳、ホイッスル、名札、懐中電灯、レジ袋、合図灯、地域安全の腕章等を携帯しております。警察関係、行政関係、地域の町内会、各学校等とは常に交流を持ち、情報を交換し、連携を密にしています。

活動の概要



次に活動の内容ですが、まず昼間の登下校見守り、夜間の全地区パトロール、緊急のパトロール、地域行事への参加、南署・交番との連携などがあります。昼間の活動は、登下校時の通学路で、見回りと交通指導、青パトによる声掛けなどをします。子供たちは喜んで手を振ってくれます。夜間の活動で、声を掛ける場合はできるだけソフトに話し掛けるようにしております。岡山弁で「おいこれ」とか、「おめえら何しとんじゃ」とかいう言葉は使いません。



藤田地域は広いので青パトの走行距離が40キロから50キロになり、たっぷり2時間以上かかります。全員ではありませんが、県警の不審者情報「ももくん安心メール」や小学校の「うさぎネット」に登録してメールの配信を受け、内容によってはその時動ける者が即、出動できるようにしています。南署管内の青パト出発式

には常に参加しております。交番には用件がなくとも立ち寄るようにして情報を交換し、その際、事案がなければ交番パトカーと合同でパトロールします。

通常パトロール以外の活動には、学校との交流、地域との交流、学習会、広報活動があります。学校との交流は、春には新1年生と対面式です。運動会に参加したり、給食会に招待されたり、時には感謝の会を開いてくれることもあります。また、中学生の校外活動に協力して小学生の校外学習の安全確保をしたり、児童と一緒に餅つき大会に参加したりします。

地域との交流は年々多くなって様々な機会があります。学校の運動会、盆踊り大会、神社のお祭りなど、整理や補導等に協力しております。落書きがあれば即消します。過去に



は資金作りのために不用品を持ち寄り、バザーを実施していました。公民館の行事にも積極的に参加し、中学校の体育祭などでは校門で警備や誘導等協力しております。

学習会としては、2年に1度、パトロール実施者講習を受けております。また、各種講習会にも参加しております。広報活動としては、「藤田安全パトロール隊便り」を年3回600部発行し、全戸へ回覧しております。内容は活動の様子や啓発記事です。写真のような看板を地域25カ所に設置しております。

私たちは活動の後、結果を日報に書いて集計しています。日報用紙に日付、巡回地区、人数、氏名、巡回拠点、出発時刻、終了時刻、総合距離、巡回区分、情報区分、そして気付いたことがあれば何でも書きます。そして6カ所の専用ボックスに投函します。担当者が回収してパソコンの日報書式に入力します。ベースとなる書式からいろいろな集計をして総会の時の資料として、学校との反省会の材料として利用します。集計は個人情報削除し、個人別集計はしません。

次に隊の運営資金についてですが、21年度から県の紹介により、青パト支援自動販売機を区内に4台設置し、寄付金をいただいております。この寄付金が主たる資金です。また広報誌に地元企業様の広告を掲載し、賛助金をいただいております。以前は各地区の連合町内会から支援金をいただいていた運営をしておりました。おかげさまで、現在は自立会計で運営しております。

活動の効果と今後の課題

活動の評価としては、県警データから地区内の非行や犯罪、不審者事案を検証し、効果があると自負しております。過去の例として夜間パトロール中、農道に倒れている老人を発見し、110番通報し保護したこともあります。人命救助に貢献することができました。

7-2. 地域と交流 (その1)

その他地域行事の周辺パトロール、駐車場整理

落書き消し

小学校運動会、町内会盆踊り大会、藤田神社四季祭り、藤田ふれあい祭り、藤田伝三郎まつり他

ふれあいバザー

18

7-4. 広報活動

「藤田安全パトロール隊便り」 パトロール看板設置 (25カ所)

- 発行回数 3回/年間 (1月、5月、9月)
- 発行部数 約600部
- 配布先 町内会回覧、商岩、交番、学校、関係官庁、全隊員他
- 編集 広報班

<取組数>
各学区数より3名、総数9名 (男3名、女6名)

21

8-1 日報記入例

パトロールの後
日報記入 (手書き)
回収ボックスへ投函
(6ヶ所設置)

23

今後の課題は後継者の育成です、一番の悩みです。我々はもしもの時に備えて二つの傷害保険をかけております。一つは県の見舞金制度、もう一つは社会福祉協議会のボランティア活動募金で、全隊員にかけております。後者は有料でございます。

以上で我が隊の活動の紹介を終わります。ありがとうございました。

10. 活動の評価

- 防犯効果
- 学校・子供たちの認識向上
- 地域の理解度

日本生命財団の
助成贈呈

子どもたちからの
感謝の手紙



県知事から善行賞
(人命救助)

29

11. 傷害保険について

①安全・安心岡山県づくり県民会議
「見舞金制度」に全隊員78名を登録【無料】
(死亡見舞金・後遺障害見舞金・負傷見舞金)
※岡山県に毎年、自主防犯活動団体登録の必要あり

②全国社会福祉協議会
「ボランティア活動保険」に全隊員78名を登録【有料】
基本タイプAプラン 年間保険料300円/1名
(死亡保険金・後遺障害保険金・通院保険金・賠償責任保険金)
※毎年契約更改時に名簿添付の必要あり

30

質疑応答

●質問 青パト支援自動販売機について、仕組みを詳しく教えてくださいませんか？

○回答 21年に4台設置しましたが、4台とも条件が違います。設置しているのは、ある量販店の休憩所、地元農協の門の前、町内会のコミュニティハウスの隣、公民館の中庭です。公民館は公的機関、農協さんはJAの許可を取らないといけない。それからコミュニティは町内会の許可、量販店はそこの本社まで行ってお願いしました。皆さん快く理解していただいて、設置をさせていただきました。

そして、ベンダー業者であるコカ・コーラさんから1本売れた商品代金の20パーセントを寄付金として、4台で年間30万円前後いただいております。ですから私どもの事務費などは十分賄っております。もし将来沢山余るようなことになりましたら、本来は不特定多数の善意のお金ですから、なんらかの形で地域に還元するというのを皆で話し合いたいと考えております。

●質問 活動の記録化ということで、日報を書いておられるそうですが、それをどのように役立てているのでしょうか？

○回答 ここの地区は年間何回パトロールした、こっこの地区は何回やったようなこともすぐ出ますので、それはそれで活用します。それからパトロールの種類の集計、登校時、下校時、緊急パトロールとか夜間とか、いろいろな集計ができます。毎年の総会で、前年の総括と反省の材料にします。合わせてお世話になっている地域の関係機関に活動報告で配っています。